

碧南市特別支援教育推進活動委員会だより

ささえあい

第72号

☎ 学校教育課 ☎95-9918

碧南市特別支援教育推進委員会では、児童・生徒が将来自立できるよう援助する活動を計画し、推進しています。また、市民のみなさんに特別支援教育を一層理解していただけるよう「ささえあい」を発行しています。今号は、特別支援学級の活動や昨年度、中学校を卒業した生徒の進路先などを紹介します。



町たんけん地域ステキ発見！

大浜小学校



大浜小学校学区には、碧南市特産の野菜を育てる畑や、地域に古くから愛される商店がたくさんあります。自然豊かで、歴史ある地域で過ごす本校特別支援学級の子どもたちは、地域の中で育ち、地域で愛される子どもを目指し、日々学校生活を送っています。

町探検をしながら、地域のよさを見つけ、新しくできた伊勢町公園では元気いっぱい、地域の子もたちとも一緒に遊ぶことができました。

また、お店での買い物学習では、事前に味見をして気に入ったお菓子をたくさんの商品の中から選び、買いたい商品を購入することができました。お店の人に「また来てね。」「上手にお金が払えるね。」と言われて、うれしそうな笑顔を見せる子どもたち。これからも地域の人々とふれ合いながら、「地域のステキ」なことに気づける子どもたちに成長していくことを願っています。



中学卒業後の進路

【市内中学校特別支援学級生徒の進路】

		R3年度	R2年度	R1年度	H30年度	H29年度	H28年度	H27年度	H26年度
特別支援学校	にしお特別支援学校	1	4	2	7	3	5	3	3
	R2まで、上段:安城特別支援学校 下段:ひいらぎ特別支援学校		1						
	大府もちのき特別支援学校 桃花校舎	4	3	1	2	2	2		
	豊田高等特別支援学校	1			1	2	1	3	4
	職業訓練校							2	1
	公立高校	1		1		1		1	
	専修学校	3	4	3	3	1	2	3	
	各種学校		1		3				
	家事従事			1	1			2	

過去8年間、碧南市内の特別支援学級を卒業した生徒の進路は上の表のとおりです。

生徒、保護者、教員で話し合いを重ね、進路先を決めていきます。最近では、調理系、情報系、福祉系などの専修学校を選択する生徒も増えてきました。

令和4年度より、西尾市に知的障害および肢体不自由のある児童生徒を対象とした、にしお特別支援学校が開校し、これまで安城特別支援学校、ひいらぎ特別支援学校に通学していた児童生徒もそちらに移りました。知的障害高等学校の生徒は基本的に自力通学になり、電車やバスを利用して通学しています。

お子さんが将来、自立した生活を送るためによりよい進路選択ができるよう、お子さんの可能性に目を向け、小学校などの早い時期から家庭や学校で話し合っておくことが大切です。

通級指導教室から

学校生活の中でさまざまな困難を抱えながら、通級指導教室に通って来る子どもたちがいます。そんな子たちに「どんなことができるようになりたいか」と聞くと「本をすらすらと読みたい」「漢字をきれいに書きたい」「友達と仲良くなりたい」と言います。実に、さまざまな願いをもっていることが分かります。

通級指導教室では、そんな子どもたち一人一人の願いを叶えるお手伝いをしています。碧南市では、子どもたちがもっている力を伸ばし、いきいきと学校生活を送ることができるように、通級指導教室を市内の全小学校と西端中学校に設置しています。通級指導教室に通う子どもたちは、通常学級に在籍しながら、週1、2時間、通級指導教室を利用して、学習する際に抱える困難を改善したり、克服したりするためのさまざまな指導を受けています。

通級指導教室では、本人だけでなく、保護者の方や先生方の意見を聞きながら、その子に合った計画を立て、指導を行っています。これからも、通級指導教室に通う一人一人の子どもたちが願いを叶えて、通常学級の中で充実した学校生活を送ることができるよう、支援をしていきます。



成長期こそ、規則正しい生活リズムを身につけましょう



～生活習慣病若年化対策事業より～

碧南市では、小学4年生と中学1年生を対象に「生活習慣病若年化対策事業」として血液検査等を実施しています。この検査では、貧血など、健やかな成長を妨げる状態の早期発見ができます。また、検査の結果をもとに、小中学校の養護教諭や栄養教諭と協力して、子どもたちの生活習慣の見直しにも取り組み、小中学校の健康保健集会の機会を活用して、検査の意味や結果の見方、これからも健康でいるための生活習慣のポイントなどの話をしています。

規則正しい生活習慣は、乳幼児期だけでなく、成長過程にある小中学生にも重要です。小中学生の健康づくり・生活習慣病等の予防の視点から、大切にしたい生活習慣のポイントは、「早寝早起き」「1日3食、(特に朝ご飯をしっかり食べること)」「適度な運動」の3つです。皆さんのご家庭・お子さんはいかがでしょう。一度親子で振り返っていただくとよいと思います。

今回は、「早寝早起き」の中の「睡眠」についてお伝えしましょう。睡眠は、眠ることですが、ただ体を休めているだけではありません。寝ている間に成長ホルモンなどが分泌されて、体が成長します。昼間に学習したことを脳に書き込むことや、食べた物を消化して栄養素を吸収するなどの働きも行われています。だからこそ、十分な時間を確保し、質の良い睡眠をとることが大切なのです。

また、平日と週末の起床時間と就寝時間のズレ(社会的時差ぼけ)が2時間を超えると、睡眠の質が低下して日中に強い眠気をもよおすという研究結果(*)が発表されました。「平日の睡眠不足に注意しつつ、平日と休日の時差が2時間を超えない生活をしましょう」と研究者はコメントしています。

本来、午前10時～12時は、人が元よく活発に動ける時間帯だと言われています。ちょうど、2～3時間目の授業時間の頃です。お子さんはこの時間に眠気を感じていませんか。もし、頻繁に眠気を感じているとしたら「睡眠の時間と質」を一度考えてみましょう!



健康課 母子保健係

※論文「日本の高校生におけるソーシャルジェットラグや食習慣と睡眠の質・日中の眠気との関連」京都府立医科大学大学院医学研究科 統合生理学 八木田和弘 教授 および 笹脇ゆふ 助教ら研究グループ